



## コロナ禍を超え…地域と親子に寄り添う子ども食堂

これまでも「わかつく」では子ども食堂を何回かにわたって取り上げてきましたが、新型コロナウイルス感染症にともなう行動制限がなくなり4カ月以上が経過したなか、状況はどうなっているのでしょうか。県内の子ども食堂支援をおこなう NPO 法人こども食堂わかやまの代表で、「おのみなとこども食堂」運営にも携わる岡定紀さん、そして利用者さんにお話をうかがいました。



和歌山市下町にある「おのみなとこども食堂」

**ひたむきな活動が広がる**  
**あたたかい気持ち**  
おのみなとこども食堂では、現在も「フードパントリー」活動を通じて支援を行っています。フードパントリーとは、企業や個人などから集めた食品を無料で配布する取り組みのことで、この日、おのみなとこども食堂では食品はもちろんのこと、子ども服やぬいぐるみ、歯ブラシセットなどを配布していました。物品を受け渡す時間はごくわずかですが、保護者や子どもに声をかけたり、心を傾けて話を聞いたりするスタッフの方の姿が印象的です。

そのような保護者や子どもたちに真摯に向き合う様子が地域に伝わっているのか「何かお手伝いできることはないですか」と、ボランティアスタッフとして自主的に参加する人も多くいました。

**利用者の声**  
おのみなとこども食堂を利用する方に、利用することのメリットを聞いたところ、「このような場所があると経済的にだけだけでなく、その日だけでも子どもたちにご飯を作らないといけないと考えると、精神的にも楽になります。その時間を他のことにあてられること、自分の時間がつく



提供された食材が並びます。お米1袋と食品を2品選べます。



食材を選んでいる様子。左右にいるのはボランティアスタッフ。

「子ども食堂は「子ども食堂」を開催することで子どもたちの支援を行っていました。しかし大勢の子どもたちが「子ども食堂」は新型コロナウイルス感染症予防のため休止せざるを得なくなりました。

「コロナ禍で一番変化したのは、お弁当の配布が増えたことやフードパントリーを始めたことですね。子ども食堂は公共施設を借りて開催していたのでそれができなくなり苦労しました」と岡さんはいいます。

一方、逆に、コロナ禍で進んだことがあるか「かろうと、「親子のために活動を行うために、自治体と、ここを始めた」とする民間組織が連携して事業を行

「子ども食堂は近年、日本各地で増えてきています。それは「子ども」のびびりや何不自由なく健やかに育ってほしい」という思いを表現させる手段のひとつになるからではないでしょうか。

**新型コロナウイルス**  
の流行、そして昨今の物価高騰…と家計を圧迫する問題は尽きません。行政に企業、そして NPO や住民などの多面的な視点が社会の課題解決に必要なと考えます。



今回はわかやま NPO センターへのインターン生、和歌山信愛女子短期大学・大岩咲嬉さんによる取材のもとお届けしました。

現在、和歌山県子ども未来課では、子ども食堂への補助金事業の受給対象者を募集しています。詳しくは和歌山県子ども未来課のウェブサイトをご覧ください。



### わかやま SDGs パートナースHIP 基金特別版

### わかやま SDGs パートナースHIP 基金 [特別版] 助成先募集

みんなの力で和歌山の復興を！

11 住み続けられるまちづくりを

17 パートナースHIPで目標を達成しよう

2023年6月豪雨で被災されたみなさまにお見舞い申し上げます。わかやま NPO センターが 2021 年度から運営を開始した「わかやま SDGs パートナースHIP 基金」では、県民のみなさまからのご寄付を原資に、国連 SDGs (持続可能な開発のための目標) の達成に向けて取り組みをすすめる和歌山県内の NPO・ボランティア団体を応援しています。今般、特別編として、6 月豪雨被災地における「支えあい」「助け合い」活動を資金的に応援させていただきます。

#### 対象団体

- ・和歌山県内に拠点を置く NPO・ボランティア団体 (法人格の有無は問いません)  
※ 一般社団法人の場合は非営利徹底型に限ります。
- ・【特別版限定】 団体の活動実績は問いません。

#### 助成金額・団体

1 団体 3 万円を上限 5 団体に助成します。他の助成金事業等との重複も構いません (もう一方の事業が認められている場合に限りません)。内容によってはヒアリングをさせていただくことがあります。

#### 助成金の使途

被災地域を含む住民のみなさんの支えあい・助け合い活動に直接必要な費用であれば内訳は問いません。

#### 必要書類

- ① 申請用紙 ウェブサイト <https://wnc.jp/works/sdgsfund> から Word ファイルが入手できます

#### ② 添付書類

- 1) NPO 法人の場合…原則としてありませんが、定款と直近事業年度の事業報告書等が内閣府 NPO 法人ポータルサイトに掲載されていない場合は添付ください
- 2) 任意団体の場合…会則もしくは規約と直近事業年度の事業報告書・決算書 (設立初年度の場合は事業計画書と予算書を提出ください)
- 3) 一般社団法人の場合…定款と直近事業年度の事業報告書・決算書 (設立初年度の場合は事業計画書と予算書を提出ください)

#### 申請方法

わかやま NPO センターまで FAX もしくは電子メールのいずれかでお送りください (郵送は受け付けません)。電子メールでの応募の場合は、受領確認メールをお送りします。9 月 30 日以降になっても受領確認メールがない場合は、迷惑メール等に誤判定されている可能性がありますので、電話でお問い合わせください。

#### 申請締め切り

2023 年 9 月 29 日 (金) 17 時 (必着)

#### 採択時の事務について

採択団体に対しては 10 月下旬を目途に助成金を振り込みます。採択団体には、2024 年 3 月末までを目途に写真等を交えた事業報告・決算報告を提出いただきます。決算報告には領収書のコピーの添付が必要です。

#### 【運営】

認定特定非営利活動法人わかやま NPO センター  
〒640-8331 和歌山市美園町 5-6-12 URL <https://wnc.jp/>  
TEL 073-424-2223 FAX 073-423-8355 E-mail info@wnc.jp  
【事務所不在時、電話是和歌山県 NPO サポートセンターに転送されます】

### 和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会だより

#### 第 20 回 旧中筋家寄席

日程 10 月 21 日 (土) 13:30 ~ 15:00  
場所 旧中筋家住宅 (和歌山市彌富)  
定員 25 名 (当日会場にお越しください)  
予定されている演目  
堀の内 (にじいろ亭花火)  
マジック (楽落亭笑三)  
時うどん (楽落亭酔花)  
リカちゃんサユリちゃん (美鬱亭八苦)  
みかん屋 (楽落亭酔粋)  
参加費 無料 (ただし、旧中筋家入場料として 100 円必要)  
主催 わかやま楽落会  
090-9864-1344  
katoku0716@outlook.jp (山本さん)

【このコーナーでは、和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会加盟団体の主催イベント等の内容を不定期にお知らせしています】